

光機能材料研究会

入会のご案内

光触媒を始めとする光機能材料技術の発展と応用展開には、めざましいものがあります。そこで、「光触媒機能追求型」の横断的な研究交流と、「光触媒」の標準化・規格化の推進に貢献するため、毎年開催されてきた「光触媒シンポジウム」を発展的に継承した「光機能材料研究会」を設立し、この分野の一層の発展をはかるために、活発な活動を展開してまいりました。

最近では、可視光応答型光触媒の開発と製品化の進展が目覚ましく、光触媒市場拡大に大きな期待がよせられています。ぜひご入会をご検討いただければ幸いです。

会長 藤嶋 昭

会員になられた方には

- ① 講演会に無料で参加できます。(法人会員3名まで無料)
- ② 光触媒を中心に光機能材料の開発・技術と実用化について、深く掘り下げた論文と、多面的な応用展開を網羅し、光触媒基礎講座を連載した「会報」を年3回、お手元にお届けします。

2024年光機能材料研究会の活動実績

- ① 講演会 (法人会員3名まで無料)
 - ・第95回講演会「2次電池研究開発の到達点とこれからの展開」1月16日 (オンライン)
 - ・第96回講演会「実用化が可能な低毒性量子ドットの化学合成と光機能材料としての応用」1月18日 (オンライン)
 - ・第97回講演会「光触媒基礎の基礎2024」4月25日 (オンライン)
 - ・第98回講演会「光触媒研究と開発技術の最新動向と将来展望2024」7月9日 (オンライン)
 - ・第99回講演会「データサイエンス研究の基礎と最新技術・応用展開」10月21日 (オンライン)
- 第28回光触媒シンポジウム 3月6日 会場 東京理科大学神楽坂キャンパスおよびオンライン会場 (ZOOM)
- 第29回光触媒シンポジウム 12月12日 会場 東京理科大学神楽坂キャンパスおよびオンライン会場 (ZOOM)
- ② 会報光触媒発行
 - ・1月 73号 「2次電池研究開発の到達点とこれからの展開」
「実用化が可能な低毒性量子ドットの化学合成と光機能材料としての応用」
「連載：酸素発生の反応機構 (1) -天然光合成系から電気分解まで-」
 - ・7月 74号 「光触媒研究と開発技術の最新動向と将来展望」
 - ・9月 75号 「データサイエンス研究の基礎と最新技術・応用展開」
「連載：酸素発生の反応機構 (2) -TiO₂、BiVO₄、その他の金属酸化物触媒」

2025年度会員の方には

- ① 講演会に無料で参加できます。(法人会員3名まで無料)
 - ・第100回講演会「光触媒の基礎と最新技術-人工光合成実現に向けて」3月5日 (オンライン)
工藤昭彦 (東京理科大学)
 - ・第101回講演会「光触媒基礎の基礎2025」4月23日 (オンライン)
大谷文章 (特定非営利活動法人 touche NPO)
 - ・第102回講演会「メタマテリアル研究開発の今日的到達点と応用展開」5月27日 (オンライン)
田中拓男 (理化学研究所) 高原淳一 (大阪大学) 富田知志 (東北大学)
 - ・第103回講演会「光機能材料の研究開発 (仮題)」大越慎一 (東京大学) 6月19日 (オンライン)
 - ・第104回講演会「光触媒研究と開発技術の最新動向と将来展望2025」7月 (予定)
 - ・第105回講演会「半導体光触媒・有機系光機能材料の基礎と最新研究開発動向 (仮題)」10月 (予定)
 - 第30回光触媒シンポジウム 企画調整中
 - ② 会報光触媒発行予定
 - ・5月 76号 「光機能材料の研究開発 (仮題)」
「メタマテリアル研究開発の今日的到達点と応用展開」
「連載：酸素発生の反応機構 (3)」
 - ・7月 77号 「光触媒研究と開発技術の最新動向と将来展望」
 - ・9月 78号 「半導体光触媒・有機系光機能材料の基礎と最新研究開発動向 (仮題)」
「連載：酸素発生の反応機構 (4)」
- (企画・編集の都合で変更される場合がございます。最新情報はHPをご確認ください：<http://pfma.jp/>)

●講演会*はホットなテーマと充実した講師陣、光触媒の基礎と最新動向がわかると好評です。

●裏面に光機能材料研究会の設立主旨、事業・会費、幹事名簿、入会申込書等が掲載されています。ご参考にしていただければ幸いです。

光機能材料研究会の設立の主旨

- ① 会は、これまでの素材別の学会・研究会と異なり、横断的で、酸化チタン光触媒をはじめとする「光機能」追求型、付加価値追求型の研究会である。
- ② 研究発表・製品展示による光機能材料の技術と実用化の交流とその発展を目指す。また、会報の発行等により情報交換をはかり、光触媒技術の発展と実用化に貢献する。
- ③ 光触媒が多機能型の材料であるため、従来の評価法・評価技術だけではすまない面がある。そのため、その機能に対する評価法・評価技術の確立によって、標準化、規格化が強く求められている現在、本会はその推進に貢献する。

光機能材料研究会の事業・会費

1. 目的とする事業

- (1) 講演会、光触媒研究討論会、シンポジウム、製品展示会の開催。(従来、毎年開催されてきた「光触媒シンポジウム」を発展的に継承)
- (2) 光触媒評価法確立のための作業部会を設置し、標準化、規格化の要請に貢献する。
- (3) 年3回の会報を発行する。光触媒関連の解説論文、光触媒規格化に関する情報、会の連絡事項等を掲載する。

2. 会員及び会費・・・法人会員：年会費 4万円

幹事名簿

会長 藤嶋 昭 (東京理科大学)

橋本 和仁 (科学技術振興機構)

落合 剛 (神奈川県立産業技術総合研究所)

瀬川 浩司 (東京大学)

堂免 一成 (東京大学)

野坂 芳雄 (長岡技術科学大学 (名))

吉原佐知雄 (宇都宮大学)

入江 寛 (山梨大学)

工藤 昭彦 (東京理科大学)

立間 徹 (東京大学)

中田 一弥 (東京農工大学)

宮内 雅浩 (東京科学大学)

大谷 文章 (特定非営利活動法人 touche NPO)

佐山 和弘 (産業技術総合研究所)

寺島 千晶 (東京理科大学)

根岸 信彰 (産業技術総合研究所)

宮坂 力 (桐蔭横浜大学)

入 会 申 込 書

- 下記ご記入のうえ、メール、Fax または郵送にてお送り下さい。

法人会員			
ふりがな 担当者名			
会社名		所 属	
勤務先 住 所	(〒 -)		
TEL		FAX	
E-mail	(必ずご記入ください。)		

- 有効期間 1月1日から12月31日までの1年間。入会初年も12月31日までです。(例 4月1日入会の場合、初年は8ヶ月間が有効です。
会報は1年分(3号分)ご送付いたします。)

- お問い合わせは、下記の事務局まで。

係員は常駐ではないので、e-mail、FAX または郵送にてお願いいたします。回答に多少の日数がかかる場合があります。ご連絡先など明記の上、お願いいたします。

■光機能材料研究会

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

東京理科大学スペースシステム創造研究センター光触媒国際ユニット内

FAX 04-7122-1742

メール pfma@rs.tus.ac.jp

URL <http://pfma.jp/>